

2023年2月6日

矢崎総業株式会社

矢崎総業、沖縄県での交通事故削減に向けてパートナーとともに、 沖縄県警察本部との連携協定を締結

矢崎総業株式会社(本社:東京都港区、社長:矢崎 陸)は、パートナー各社とともに、沖縄県で実施しているレンタカー利用者の安全運転支援のための実証実験において、この度、沖縄県警察本部との連携協定を締結しました。

当社は、2021年12月より、株式会社トヨタレンタリース沖縄、株式会社 JTB と共に、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金(Toyota Mobility Foundation)が企画・主導する“交通事故削減”を目指した活動に参画し、レンタカー利用者の安全運転支援のための実証実験を実施してまいりました。

実証実験において、当社では、危険箇所の事前警告、ドライバーへの安全運転状態の通知などの機能を持つ車載タブレット用アプリを開発、提供しており、事故多発地点での危険挙動の減少や速度の抑制など、交通事故削減につながるドライバーの運転行動の変化が確認できております。

また昨年からは、トヨタ自動車株式会社および、琉球大学、東京大学大学院工学系研究科が参画し、トヨタの車両データの活用も進めております。

今回の沖縄県警察本部との協定により、交通事故データと車両データによる潜在的な危険箇所の把握など、産学官で連携して沖縄県における一般車両およびレンタカー車両の交通事故削減を目指してまいります。また、交通事故の要因の一つでもある交通渋滞の解消を目指し、観光振興にも資する取り組みとして実証を拡充してまいります。

(2021年12月リリース: <https://www.yazaki-group.com/pdf/news211209.pdf>)

(2022年10月リリース: <https://www.yazaki-group.com/pdf/news221004.pdf>)

【連携協定締結メンバー】



矢崎総業は、1960 年のアナログ式タコグラフ(運行記録計)販売開始以来、長年にわたり、トラック、バス等商用車の安全運行に向けた取り組みを続けてまいりました。これまでの実証実験では、商用車向けのデジタル式タコグラフを活用したフリートマネジメントサービス(法人向け安全運転支援サービス)で培ってきた技術・ノウハウを基に、レンタカー向けアプリを開発し、事故削減につながる顕著な行動変化を確認できておりますが、今後は本連携協定の下、互いのデータを活用した分析を行うことにより、更なる交通安全の実現を目指します。

矢崎総業では、これからも実証実験を通じ、交通事故、交通渋滞に起因する地域課題の解決に向けた活動を推進してまいります。

今回の取り組みに関連する SDGs の目標 :



<お問い合わせ先>

矢崎総業株式会社 広報部
TEL : 055-965-3002
E-mail : kouhou@jp.yazaki.com